



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社

コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	48,165	5.2	5,945	△4.6	6,397	△8.6	5,355	△18.1
2022年9月期第3四半期	45,790	11.3	6,232	17.9	6,998	22.6	6,538	28.0

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 4,950百万円 (△57.2%) 2022年9月期第3四半期 11,580百万円 (57.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	130.16	129.68
2022年9月期第3四半期	158.96	158.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	134,267	113,459	84.3
2022年9月期	133,553	111,017	82.9

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 113,177百万円 2022年9月期 110,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	29.00	-	32.00	61.00
2023年9月期	-	30.00	-	-	-
2023年9月期（予想）	-	-	-	31.00	61.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,600	3.5	7,600	△5.6	8,050	△11.3	6,600	△17.6	160.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	42,708,154株	2022年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	1,562,828株	2022年9月期	1,562,744株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	41,145,361株	2022年9月期3Q	41,131,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行したことに伴い行動制限が緩和され、社会経済活動が正常化に向かい、景気は持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化、原材料価格や資源価格の高騰、物価の上昇等が国内外の経済活動に依然として影響を与えており、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など、依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は前年同期に比べ2,375百万円(5.2%)増加し、48,165百万円となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比3.4%の増収、主要な海外連結子会社の売上高は、米国子会社が円安の影響により前年同期比4.9%の増収(現地通貨ベースでは同8.3%の減収)、中国子会社が前年同期比10.4%の増収(現地通貨ベースでは同4.6%の増収)、マレーシア子会社が前年同期比22.0%の増収(現地通貨ベースでは同12.9%の増収)となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、当社単体、中国子会社、及び円安の影響による米国子会社の売上増加を主因に前年同期比5.6%増加し、42,117百万円となりました。

フレグランス部門は、当社単体の売上が増加したことを主因に前年同期比2.7%増加し、6,047百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は原料費の増加等に伴う売上原価率の悪化、並びに販売費及び一般管理費の増加を主因に前年同期に比べ287百万円(4.6%)減少し、5,945百万円となりました。経常利益は営業利益の減少並びに為替差益の減少を主因に、前年同期に比べ601百万円(8.6%)減少し、6,397百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少並びに投資有価証券売却益の減少を主因に、前年同期に比べ1,182百万円(18.1%)減少し、5,355百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における損益計算書の換算に適用する主要通貨の日本円への換算レート(期中平均レート)は、下記のとおりです。

- 1 米ドル=137.10円(前年同期119.83円、前年同期比14.4%円安)
- 1 人民元=19.59円(前年同期18.55円、前年同期比5.6%円安)
- 1 マレーシアリングgit=30.52円(前年同期28.24円、前年同期比8.1%円安)

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しております。

(日本)

売上高は29,806百万円(前年同期比3.4%増)、セグメント利益は3,910百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

(アジア)

売上高は10,958百万円(前年同期比11.0%増)、セグメント利益は2,198百万円(前年同期比23.7%増)となりました。

(米国)

売上高は9,456百万円(前年同期比5.3%増)、セグメント損失は202百万円(前年同期は488百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が354百万円、有価証券が999百万円、商品及び製品が749百万円、それぞれ増加したことを主因として、流動資産は前連結会計年度末に比べ2,386百万円増加し、68,376百万円となりました。

(固定資産)

前連結会計年度末に比べ、償却が進んだことにより、建物及び構築物が876百万円、のれんが704百万円、それぞれ減少したことを主因として、固定資産は前連結会計年度末に比べ1,672百万円減少し、65,890百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が1,036百万円、賞与引当金が978百万円、それぞれ減少したことを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ1,934百万円減少し、11,396百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債が143百万円増加したことを主因に、固定負債は前連結会計年度末に比べ206百万円増加し、9,411百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が2,804百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が317百万円減少したことを主因に、純資産合計は前連結会計年度末に比べ2,442百万円増加し、113,459百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末における貸借対照表の換算に適用する主要通貨の日本円への換算レート(期末日レート)は、下記のとおりです。

1 米ドル=144.99円(前連結会計年度末144.81円、前連結会計年度末比0.1%円安)

1 人民元=19.94円(前連結会計年度末20.37円、前連結会計年度末比2.1%円高)

1 マレーシアリングgit=30.96円(前連結会計年度末31.24円、前連結会計年度末比0.9%円高)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月11日に公表いたしました連結業績予想につきまして、修正を行っております。具体的な内容につきましては、本日(2023年8月7日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,351	20,480
受取手形及び売掛金	18,722	19,076
有価証券	8,999	9,999
商品及び製品	7,750	8,500
仕掛品	78	176
原材料及び貯蔵品	9,013	8,982
その他	1,099	1,181
貸倒引当金	△26	△21
流動資産合計	65,989	68,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,593	18,716
その他(純額)	14,158	14,468
有形固定資産合計	33,752	33,184
無形固定資産		
のれん	6,815	6,110
その他	13,379	13,177
無形固定資産合計	20,194	19,288
投資その他の資産		
投資有価証券	12,589	12,388
退職給付に係る資産	18	18
その他	1,039	1,039
貸倒引当金	△30	△27
投資その他の資産合計	13,616	13,417
固定資産合計	67,563	65,890
資産合計	133,553	134,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,211	6,258
未払法人税等	1,694	658
賞与引当金	1,632	653
役員賞与引当金	74	—
その他	3,718	3,826
流動負債合計	13,331	11,396
固定負債		
繰延税金負債	1,101	1,245
退職給付に係る負債	7,442	7,500
資産除去債務	69	69
長期末払金	212	199
その他	378	396
固定負債合計	9,204	9,411
負債合計	22,536	20,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,513	7,513
利益剰余金	81,898	84,702
自己株式	△2,555	△2,556
株主資本合計	92,220	95,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,657	6,553
為替換算調整勘定	12,098	11,781
退職給付に係る調整累計額	△199	△182
その他の包括利益累計額合計	18,556	18,152
新株予約権	239	282
純資産合計	111,017	113,459
負債純資産合計	133,553	134,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	45,790	48,165
売上原価	26,808	28,845
売上総利益	18,981	19,320
販売費及び一般管理費	12,749	13,374
営業利益	6,232	5,945
営業外収益		
受取利息	119	134
受取配当金	175	190
為替差益	388	14
その他	99	132
営業外収益合計	782	471
営業外費用		
支払利息	5	5
その他	10	13
営業外費用合計	16	18
経常利益	6,998	6,397
特別利益		
投資有価証券売却益	2,230	1,203
特別利益合計	2,230	1,203
特別損失		
固定資産廃棄損	15	42
特別損失合計	15	42
税金等調整前四半期純利益	9,213	7,557
法人税等	2,621	2,202
四半期純利益	6,591	5,355
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,538	5,355

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	6,591	5,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,667	△104
為替換算調整勘定	8,619	△317
退職給付に係る調整額	36	16
その他の包括利益合計	4,988	△404
四半期包括利益	11,580	4,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,496	4,950
非支配株主に係る四半期包括利益	83	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
香料事業(注) 3.	27,122	9,765	8,901	45,790	—	45,790
顧客との契約から生じる収益	27,122	9,765	8,901	45,790	—	45,790
外部顧客への売上高	27,122	9,765	8,901	45,790	—	45,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,704	110	75	1,890	△1,890	—
計	28,827	9,875	8,977	47,680	△1,890	45,790
セグメント利益	3,998	1,776	488	6,263	△31	6,232

(注) 1. セグメント利益の調整額△31百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額79百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△107百万円、その他△3百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 香料事業はフレーバー、フレグランス等の製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
香料事業(注) 3.	28,003	10,822	9,339	48,165	—	48,165
顧客との契約から生じる収益	28,003	10,822	9,339	48,165	—	48,165
外部顧客への売上高	28,003	10,822	9,339	48,165	—	48,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,803	135	116	2,055	△2,055	—
計	29,806	10,958	9,456	50,220	△2,055	48,165
セグメント利益又は損失(△)	3,910	2,198	△202	5,906	38	5,945

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額38百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額75百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△36百万円、その他△0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 香料事業はフレーバー、フレグランス等の製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。